

2026 年 7 月 16 日

**デザイン提案力に優れた全 18 例を表彰
『2025 年度アーキテクト・オブ・ザ・イヤー』を開催**

パナソニック ホームズ株式会社は、2026 年 6 月 5 日、当社の建物設計における優秀事例を表彰する社内制度『2025 年度アーキテクト・オブ・ザ・イヤー』（以下、当表彰）の最終審査を実施し、最優秀賞 6 例をはじめとする全 18 例を選出・表彰しました。

当表彰は、設計従事者の提案力向上および優秀事例における特長・工夫の水平展開を目的に、2016 年度から毎年実施しています。最終審査は、1 次・2 次の書類審査を通過した作品を対象にコンペ形式で行い、設計者自らが設計計画やオーナーさまへの提案プロセスをプレゼンテーションすることで、総合的なデザイン提案力を評価し、受賞事例を決定します。

選考部門は、全 6 コース＜「戸建 平屋設計デザインコース」「戸建 設計デザインコース」「空間デザインコース」「事業用物件コース（3 階以下/4 階以上）」「リフォームコース」＞で構成しています。最終審査では、審査対象 18 例の中から、最優秀賞 6 例、新人賞 2 例に加え、Casa BRUTUS 賞およびエクステリア賞（建物・外構一体提案の強化を目的に新設）の各 1 例を選出しました。

**戸建 平屋設計デザインコース 最優秀賞事例
「庭屋一如 庭と建築が一体となり、静かに調和する住まい」 外観・内観**

審査員には、建築家の連 健夫(むらじ たけお)氏をはじめ、「Casa BRUTUS」副編集長の奥村 健一氏、株式会社エストプラス 17 CSO、株式会社田主丸緑地建設 代表取締役社長であり、2025 年 10 月から当社のエクステリア クリエイティブ ディレクターを務める小西 範揚(こにし のりあき)氏を迎えました。さらに、プライム ライフ テクノロジーズグループ※内の連携強化の一環として、当社と同じ事業会社であるミサワホーム株式会社およびトヨタホーム株式会社のデザイナーも審査に参加。外部有識者とグループ各社の専門性を活かし、デザイン性に加えて、計画内容や提案プロセス、表現力などを多角的に評価しました。審査員からは、提案の多様性や設計力の向上、建築と外構を一体的に捉えた提案の広がりについて高い評価が寄せられました。

当社は今後も当表彰を通じて、設計担当者の提案力とデザインクオリティのさらなる向上を図っていきます。

■『2025 年度アーキテクト・オブ・ザ・イヤー』 概要

- 名 称** : 『2025 年度アーキテクト・オブ・ザ・イヤー』
- 主 催** : パナソニック ホームズ株式会社 設計・建設推進部(実施当時は設計部)
- 審 査** : ① 応募受付 2025 年 10 月～2026 年 1 月
② 1 次審査 2026 年 1 月
③ 2 次審査 2026 年 3 月
④ 最終審査 2026 年 6 月 5 日
- コ ー ス** : 【新築戸建住宅】
戸建 平屋設計デザインコース
戸建 設計デザインコース
空間デザインコース
【事業用物件】
事業用物件コース(3 階以下／4 階以上)
【リフォーム物件】
リフォームコース
- 賞 の 概 要** : ①最優秀賞(6 例): 上記 6 コースのそれぞれにおいて最も優れた事例を選出
②新人賞(2 例) : 上記 6 コースのそれぞれにおいて、2019 年度以降に
新卒定期採用で入社した社員が設計した事例を選出
③入賞(12 例) : 最優秀賞の受賞事例以外から選出
④Casa BRUTUS 賞(1 例): 18 例の中から、「Casa BRUTUS」副編集長
奥村 健一氏が選出
⑤エクステリア賞(1 例) : 外構請負物件の中から、当社エクステリア クリエイティブ
ディレクター 小西 範揚氏が選出
- 対 象 者** : パナソニック ホームズ株式会社の支社および海外事業部門、連結子会社、
持分適用会社、パナソニック リフォーム株式会社に所属する社員のうち、
1 級建築士・2 級建築士・インテリアコーディネーターのいずれかの資格を
有する設計従事者
- 対 象 事 例** : 2024 年 10 月～2025 年 9 月に完工したオーナーさま引き渡し事例
- 応 募 総 数** : 274 事例
- 審 査 員** : 建築家 連 健夫氏
雑誌「Casa BRUTUS」副編集長 奥村 健一氏
エクステリア クリエイティブ ディレクター 小西 範揚氏
ミサワホーム株式会社 商品開発部 部長兼チーフデザイナー 仁木 政揮氏
ミサワホーム株式会社 商品開発部 エキスパート兼チーフデザイナー 増田 拓也氏
トヨタホーム株式会社 くらし建築デザイン部 担当部長 山中 政典氏
トヨタホーム株式会社 くらし建築デザイン部 くらし建築デザイン設計室 室長 松本 清一郎氏
パナソニック ホームズ株式会社 主要役員

※プライム ライフ テクノロジーズグループは、2020 年 1 月にパナソニック(現パナソニック ホールディングス)、トヨタ自動車株式会社、三井不動産株式会社の 3 社の出資により設立されたプライム ライフ テクノロジーズ株式会社を持株会社とする企業グループ。パナソニック ホームズ株式会社、トヨタホーム株式会社、ミサワホーム株式会社、パナソニック建設エンジニアリング株式会社、株式会社松村組の 5 社を中核事業会社として、住宅・建設・まちづくり事業を展開しています。

■ 『2025 年度アーキテクト・オブ・ザ・イヤー』 最優秀賞・Casa BRUTUS 賞・エクステリア賞 表彰事例

① 戸建 平屋設計デザインコース 最優秀賞・エクステリア賞

〔設計:パナソニック ホームズ大分株式会社 安部 将智〕



書院裏の間接照明によって松が浮かび上がり、「庭の紅葉」と対をなす和室

【特長】テーマは「庭屋一如(ていおくいちによ)」。庭と建築を一体化し、自然と調和する“住まう私設美術館”を目指しました。

和室は、旧宅の石材や樹木を活かした庭とつながり、欄間や書院建具を移設して過去の記憶を継承。光の取り込みや水盤の反射により、内外が一体となる奥行きある空間を実現しました。外部の喧騒を抑えつつ、玄関から庭へ視線と動線が通り抜ける構成とし、光や緑を奥まで導きます。玄関から LDK へ続く通路には絵画を飾り、幅 1.4m のギャラリーとして移動も楽しめる設えに。高気密・高断熱性能により静けさを確保し、光の演出とともに、愛犬と過ごすゆとりある暮らしを実現しています。

【評価ポイント】 庭と建物を一体化させた空間提案や、中と外・時間をつなぐ構成力の高さが際立っている。分かりやすく訴求力のあるプレゼンテーションと言葉の表現力に加え、緻密な配置計画や動線設計など、プロセスから完成に至るまで一貫して総合的な提案力の高さが発揮されている。

② 戸建 設計デザインコース 最優秀賞・Casa BRUTUS 賞

〔設計:近畿支社 坂上 弘樹〕



北側の街路樹を借景として取り込んだ
ヒノキの無垢床が心地よいリビング

【特長】テーマは「北を詠む建築」。不利とされがちな北側の魅力を住まいに取り込むことを目指しました。

LDK は、街路樹の緑ややわらかな自然光、視線の抜けを取り込み、落ち着きある空間としています。南西からの圧迫感は、外構壁の高さや配置を工夫して視線をコントロールすることで軽減し、プライバシーを確保しながら光と景色を室内へ導いています。また、オーナーさまの求める木質感に答え、無垢材を活かした LDK や和室を中心に素材の美しさを引き立てる空間を構築。坪庭の光や借景の緑と調和した住まいとしています。さらに、回遊動線と効率的な家事計画により、6 人家族が快適に暮らせる機能性を備え、自然の心地よさと暮らしやすさを両立しています。

【評価ポイント】 ラフスケッチからディテールに至るまで一貫した設計プロセスと高い再現性、説得力ある提案力が発揮されている。大胆なゾーニングや北庭の提案、自然の取り込みとプライバシー配慮、緻密なディテール設計など、全体から細部に至るまで統合されたデザインの質の高さが際立っている。

③ 空間デザインコース 最優秀賞
[設計:東北支社 新潟支店 植木 麻美]



美しい庭へと視線が抜けるシームレスな LDK

【特長】 テーマは「Biophilic Luxury 光と調和の邸宅」。自然とのつながりと上質感を融合し、照明計画による光と陰影で、空間価値を高める住まいを目指しました。

ご夫婦の異なる感性に寄り添い、素材のバランスを丁寧に整え、心地よく調和。庭を引き立てる内装計画により、中と外がつながる豊かな空間を創出しました。また、メインとなるリビングの吹抜には敢えて視覚的なノイズとなるダウンライトを設けずに、光そのものを空間構成要素として丁寧に設計。端正なライン構成とすることで空間の伸びやかさを強調しました。昼も夜も、自然と光に包まれ、心地よさが続く上質な住まいです。

【評価ポイント】 ヒアリングに基づくチーム提案力と顧客に寄り添う設計姿勢が素晴らしい。大開口による明るく開放的な空間や、室内・開口部・庭の一体的な構成、立体的な広がりを生む空間演出など、意匠と空間構成の完成度の高さが優れている。

④ 事業用物件コース(3 階以下) 最優秀賞
[設計:パナソニック ホームズ北関東株式会社 曾我 享一郎]



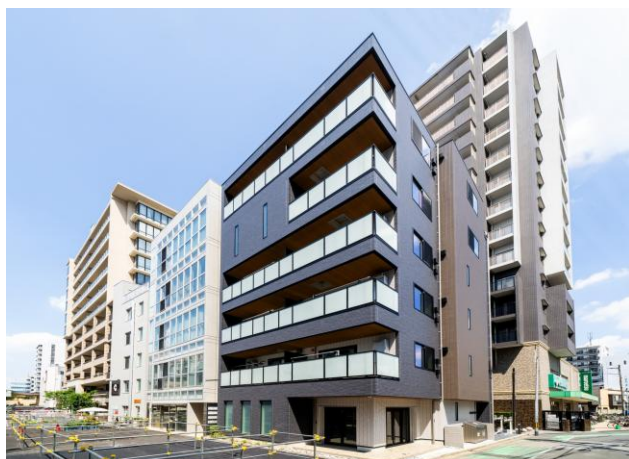
外に開かれたディスプレイスペースが訪れる人を明るく迎える外観デザイン

【特長】 テーマは「ディスプレイスペースのある呼吸器内科クリニック」。医師の穏やかな人柄を建築で表現し、患者がカフェのように安らげる空間づくりを目指しました。メイン道路側には、カラフルなバルーンを配したディスプレイスペースを設け、外部へ明るく親しみやすい印象を発信。一方、住宅地側には中庭と大きな開口を設け、緑を感じながら落ち着いて過ごせる待合環境を整えています。

さらに散策路のようなアプローチや、一般患者と発熱患者の動線を分けることで、混雑や視線に配慮した安心でスムーズな通院環境を実現。コンセプトである「街とクリニックの中間領域」を感じられる、機能性とやさしさを両立した地域に開かれたクリニックです。

【評価ポイント】 新たな受付形態の提案や、敷地利用計画・ゾーニング・外観デザインの整合性が的確にまとめられている。ディスプレイを活用した街との関係性の創出や、動線計画・設備設計の緻密さ、美しい外観表現と環境適応力など、機能性とデザイン性を兼ね備えた提案力が際立っている。

⑤ 事業用物件コース(4 階以上) 最優秀賞
[設計:東京支社 城南支店 明田 大]



ガラス素材のバルコニーとタイルの濃淡が
印象的なモダンな外観

【特長】テーマは「空を楽しむ多層階レジデンス」。商業地の限られた敷地を最大限に活かし、1 階にテナント、2 階以上に賃貸住戸を配置することで、収益性と意匠性を両立した 6 階建てを実現しました。外観は、底の水平ラインと縦長窓・袖壁の垂直ラインを基調に、設備要素を極力排除したノイズレスでシンプルモダンなデザインとしました。さらにオーバーハングによる立体的な陰影を加えることで単調さを抑えた表情豊かな印象に。住戸内は間接照明を取り入れた落ち着いたあるインテリアで、入居者に選ばれる魅力と資産価値の向上につながっています。周辺の街並みに調和し、上質な景観をもたらす象徴的な存在となっています。

【評価ポイント】 駅前の狭小敷地において、収益性とデザイン性を高次元で両立した提案力が発揮されている。シンプルな構成の中に外観の表情や黄金比を取り入れた意匠性、敷地の有効活用やプラン構成の工夫により、機能性と景観性を両立し、街並みに配慮した質の高い建築といえる。

⑥ リフォームコース 最優秀賞
[設計:パナソニック リフォーム株式会社 近畿設計部 白坂 佳子]



キッチンを中心に子どもを見守れる LDK で
来客時には集って楽しめる広々とした空間

【特長】テーマは「おうち時間を満喫する家」。子どもがのびのびと暮らせる庭のある住まいを目指し、中古木造住宅をフルリノベーションしました。キッチンを中心に空間全体を見渡せるリビングには、スタディコーナーやプレイスペース、ヌックなど多彩な居場所を配置。キッチンから様子を確認できるのぞき窓や、天井のうんていなど、子どもが安心して遊べる工夫を備えています。玄関からリビングへと続く廊下には間接照明を設け、奥へ視線を導く設計に。また、水回りと収納をまとめた家事動線により、日々の負担を軽減。庭と一体となった開放的な空間の中で、子どもを見守りながら家族のつながりが自然と感じられる住まいです。

【評価ポイント】 築年数を感じさせない現代的な住まいへの刷新と、実用性とやさしさを兼ね備えた空間提案が印象的である。充実した水回り計画や、子どもと大人双方の視点から暮らしを具体化した間取り、家族が楽しく過ごせる工夫など、生活イメージを喚起する提案力の高さがうかがえる。

◎ パナソニック ホームズ エキスパート デザイナーの詳細はこちら
<https://homes.panasonic.com/designer/>

* 本件に関するお問い合わせ先 *

パナソニック ホームズ株式会社 宣伝・広報部 ブランド宣伝・広報課 潤随
TEL:080-8544-4376 / E-mail:kanzui.naho@panasonic-homes.com
HP:<https://homes.panasonic.com/company/news/release/>